

第68回弟子屈町総合文化祭

展示部門／摩周観光文化センター(予定) 10月20日(金)～10月22日(日) 9時～18時 最終日は17時まで

団体名

華道正光未生流、池坊リラの会、摩周焼陶芸教室、弟子屈短歌会、グループホームあったか家、グループホーム家路、デイケアセンターたこ八、町立弟子屈養護老人ホーム倅和園、弟子屈町老人デイサービスセンター、てつなぎ工房、一般社団法人ゆっくりん、きずなのなかま達、ステンシル・ポタニカルアート交遊会、アートフラワーマーガレット同好会、摩周フラワーマスター協会、香墨弟子屈習字勉強会、木綿美キルトグループ、絵手紙摩周湖、手編みサークル、摩周多夢窯教室、クラフト摩周、創作人形Y O Uの会、弟子屈郵便局、弟子屈点訳の会、おひさま保育園、個人展

芸能部門／摩周観光文化センターアリーナ 10月29日(日) 9時50分開会 10時開演

団体名

午前の部
弟子屈小学校吹奏楽少年団、弟子屈中学校・弟子屈高等学校合同吹奏楽部、奥春別小学校(鐘別獅子舞)、弟子屈音頭・月の摩周保存部、リコーダーを楽しむ会、東・北海道岳風会北釧路支部、聖月流川湯支部、しらかば合唱会、美留和フラダンス同好会、生田流琴友会
午後の部
川湯中学校川湯ばやし同好会、川湯ばやし保存会、日本民謡三弦渡邊孝帆会、弟子屈摩周湖民謡会、I & Mバトンスタジオ、舞踊華、川湯わんぱくダンスクラブ、弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会、摩周丘幼稚園、摩周さくら歌謡教室、P L 第五M B A 弟子屈教室、摩周丘幼稚園・おひさま保育園(弟子屈音頭)

茶道部門／摩周観光文化センターロビー 10月29日(日) 10時～14時(なくなりしだい終了)

団体名

表千家三翠会

問い合わせ先／町教育委員会社会教育課社会教育係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 8 (課直通)

釧路公立大学開学30周年記念事業を開催

釧路公立大学は、本町を含む釧路管内の1市7町村で構成する事務組合によって運営する大学で、これまで地域に多くの人材を輩出してきました。今年は、1988年の開学から30周年を記念して、記念事業が行われます。ぜひご参加ください。



■記念講演

日 時／10月7日(土) 15時10分～16時10分
会 場／釧路公立大学 大講義室1
演 題／公立大学の現状と課題
講 師／一般社団法人公立大学協会 事務局長 中田 晃氏

■記念講演講座 ～共通テーマ「歴史と文化の地平を拓く」

釧路会場／釧路公立大学 2階 202教室

開催日	開催時間	講座名	講師
10月4日(水)	18時30分～20時	資源からみた日中関係史～鉄をめぐる争奪が日中戦争を招いた～	萩原 充 教授
10月11日(水)		箱館戦争と釧路・厚岸～榎本軍が道東にやってきた～	高嶋弘志 教授
10月18日(水)		ロック・ミュージックとアイルランド近現代史	藤田祐 准教授
10月25日(水)		都市を考える～歩くことから見えてきたこれからの都市のかたち～	神野照敏 教授

※各講座は厚岸町と釧路市音別町でも開催されます。詳細は事務局にお問い合わせください。
※記念講演、公開講座とも受講無料で事前申込は不要です。会場に直接お越しください。
※10月7日(土)、8日(日)には大学祭(K.P.Uフェスタ)が開催されます。こちらもぜひご参加ください。
問い合わせ先～K.P.Uフェスタ実行委員会 ☎ 0154-37-6720

問い合わせ先／釧路公立大学事務局総務課 ☎ 0 1 5 4 - 3 7 - 3 2 1 1

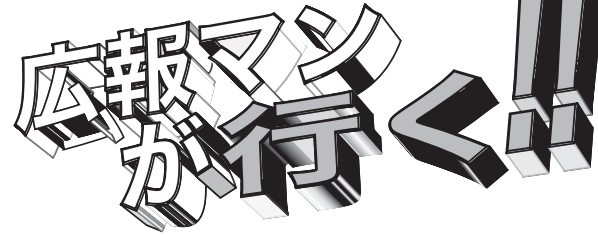
8月10日

利用者に安全に利用してほしい 町内2キャンプ地で啓発活動



平成29年度キャンプ地合同巡視パトロールが8月10日、砂湯キャンプ場と和琴キャンプ場で行われました。キャンプ地の安全な利用を呼びかけるため、利用客の増えるこの時期に毎年行われています。当日は7つの関係団体から合わせて32人が参加。和琴と砂湯の二手に分かれ巡視をしながら、それぞれのキャンプ場の利用者に啓発品を手渡しました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

8月25日

おいしいわがまち自慢の味 学校給食に摩周メロン



本町の特産品「摩周メロン」が8月25日、町内7つの小中学校の給食で提供されました。町の特産品や地場産のものを使って作る「ふるさと給食」として提供されたもの。今年の豊作を受け、農協から7校分60玉のメロンを確保することが出来たため急ぎ実施されました。弟子屈小学校(佐野哲哉校長)でも児童がメロンに舌鼓。給食準備では落とさないように慎重に配膳し、食事が始まると皮のぎりぎりまできれいに食べ切りお代わりを希望する児童も。「おいしい」「もっと食べたい」と大人気でした。

8月24日

町の特産を自分たちの手で 児童が育てた摩周メロン収穫 | 和琴小



和琴小学校(鳴海厚校長)で8月24日、児童が育てた摩周メロンの収穫が行われました。同校では敷地内の小農園で野菜などを育てており、摩周メロンの栽培は平成20年ころから取り組んでいます。作付け時の水やりやハウスの窓の開け閉めなど児童が毎日お世話をしました。今年は8玉が見事に実り、この日はそのうちの5玉を低学年が収穫。収穫した児童は「去年と比べてもいい出来。食べるのが楽しみ」とうれしそうに話していました。収穫したメロンは数日熟成させ、みんなでいただきました。

8月25日

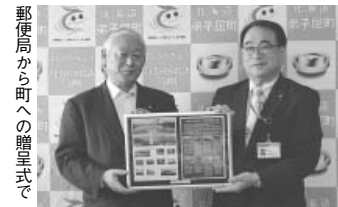
道路の美化と保身に貢献 花いっぱい運動推進会が表彰



弟子屈町花いっぱい運動推進会(中尾幸也会長)と女性部(坪井都子部長)が8月25日、公益社団法人道路協会会長表彰を受賞しました。同推進会は、平成11年からボランティアサポートプログラムに参加し、国道241・243・391号線の鈴蘭地区交差点からおよそ230mの区間で花植えなどの美化活動を行っています。釧路開発建設部の桑島隆一部長はあいさつで「皆さんの活動はとても励みになります。これからも道路の安心・安全・快適のため活動を継続してほしい」と話しました。

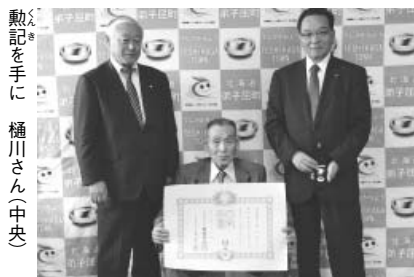
8月25日

国立公園名称変更を記念して オリジナルフレーム切手の販売開始



日本郵便株式会社北海道支社は8月25日、オリジナルフレーム切手「荘厳な自然絵巻 阿寒摩周国立公園」の販売を開始しました。国立公園の名称変更を記念して制作されたもの。公園内の雄大な自然風景や阿寒湖のまわりなどがプリントされとても美しい仕上がりです。価格は1シート(82円切手×10枚)1300円。釧路地域と道央地域の郵便局75局と郵便局のネットショップで販売されています。切手の作成にあたって、本町の国立公園域の写真撮影を担当した川湯郵便局の酒井盛興局長は、「切手は情報発信の有効な手段。国立公園の雄大さの一端を感じてもらえれば」と話しました。

9月6日
**長年にわたり地方自治の発展に貢献
 樋川清七さんが旭日単光章を受章**



本町の文化・産業・経済の向上に尽力し、地域の発展に貢献したとして9月6日、樋川清七さん(88歳・美留和)に旭日単光章が授与されました。同章は地方自治への功績が顕著な方に対し、米寿を迎えられたことを期に天皇陛下から与えられるもの。樋川さんは昭和50年に本町議会議員に初当選され、以来20年の長きにわたり町政に参画されました。その間、町議長、副議長、文教厚生常任委員長の要職を担い、地方自治の発展への功績が称えられこのたびの受賞となりました。

9月5日
**地域の役に立ちたい
 町家畜共進会場で社会貢献**



クニオカ工業(株)(今 誠代表取締役)と今道東・道 瀝経常建設共同企業体(株)今道東建設工業(今誠代表取締役)・道瀝工業(株)(橋本稔代表取締役)が、9月4～5日にかけて町家畜共進会場の不陸修正作業を行いました。利用者が気持ちよく使えるようにと行われたもの。凹凸のある会場をブルドーザーやロードローラーなどの重機を使って丁寧に整地しました。

9月7日
**昔の遊びや出し物でおもてなし
 長寿会の方との交流会を開催 | 和琴小**



和琴小学校(鳴海厚校長)の児童らが企画・進行した長寿会の方との交流会が、9月7日、同校で行われました。地域の老寄りの方と交流を深める目的で昨年度から開催されています。今年は全校児童が参加し、自己紹介や肩たたきなどのふれあいタイム、茶話会など工夫を凝らした催しで、訪れた皆さんにおもてなしをしました。学年ごとの出し物では、低・高学年がそれぞれ歌を、中学年がリコーダーとけん盤ハーモニカの演奏を披露。一生懸命な演奏に、参加者の方からは温かい拍手が送られました。

9月7日
**阿寒摩周国立公園への名称変更を記念して
 自然ふれあい行事 講演会を開催**



川湯ふるさと館にて9月7日、川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「摩周湖の水・いきもの・泥」が行われました。阿寒摩周国立公園名称変更を記念した講演会で、町内外から54人が参加。約30年間摩周湖の調査を実施してきた国立環境研究所・環境計測研究センター田中敦室長が講師を務めました。調査データに基づいた話のほか、透明度板の使い方や田中氏の専門でもある放射線の測定方法など幅と深みのある講演会になりました。参加者は「見るだけではわからない摩周湖のことを知れて良かった」と話していました。

9月10日
**お子さんもお母さんも頑張りました
 3歳児健診でむし歯のなかった子を表彰**



歯ピカ表彰式が9月10日、町公民館で行われました。3歳児健診でむし歯のなかったお子さんを表彰するもので、毎年行われています。今回は平成28年度の同健診でむし歯のなかったお子さんに、表彰状と記念品が贈られました。本町では、むし歯になるお子さんは年々減少傾向にあります。全国平均と比べるとまだむし歯のお子さんが多い状況です。中学生までに生えそろう歯は一生の宝物です。歯に良い生活習慣を身につけ、今後もむし歯ゼロを目指し続けましょう。

9月8日
**町の経済活性化に向けて
 北海道が企業研修を実施**



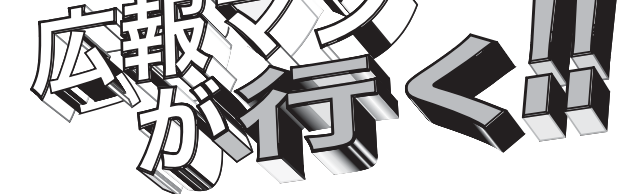
北海道経済部が実施する企業研修機能誘致推進モデル事業を活用した(株)オリエンタルランド(加賀見俊夫代表取締役会長兼CEO)の社員研修が7月～9月の間に全4回にわたって、お宿欣喜湯で行われました。研修では「欣喜湯または川湯温泉地区、当町における経済活性化のための新サービスの提案」を題材とし、社員が実際に滞在して得た情報をもとに研修。9月8日に行われた最終回のプレゼンテーションでは、「食」「空間」「施設利用」の3点について新しいサービスが提案されました。

8月26日
**打ちたての新そばに舌鼓
 たぶん日本で一番早い新そば祭り**



J A 摩周湖(川口覚組合長)と摩周そば生産組合(猪狩広昭組合長)が主催する「第11回 J A 摩周湖農業祭 たぶん日本で一番早い新そば祭り」が8月26日、J A 摩周湖前で開催され、町内外から訪れた多くの方でにぎわいました。会場では「摩周そば生産組合」が、弟子屈産のそば粉を使った、打ちたて、ゆでたての新そばを提供し、新そばを求める方で長蛇の列が。また、摩周メロンなどの農産物即売や地場産野菜などの天ぷら販売のほか、多彩なイベントも行われ来場者を楽しませました。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

8月28日
**水郷公園が幼児の新しい遊び場に
 水郷公園幼児広場のオープン**



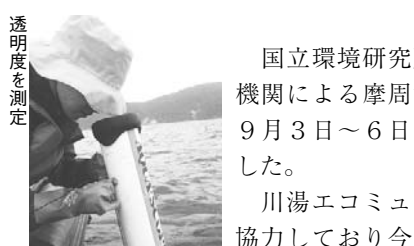
水郷公園駐車場の噴水跡に8月28日、幼児広場がオープンしました。平成25年度子育て支援に関する町民アンケート調査で、「子どもが楽しむ場所が少ない」「きれいな遊具が整備された公園がない」と多数の意見が寄せられ、道の地域づくり総合交付金を活用し建設。大型遊具1基と乗って楽しむ小型遊具3基を設置し、床には転んでもけがのしづらいラバークッションを敷き詰めています。対象年齢は3～6歳。この日は摩周丘幼稚園(鈴木幸榮園長)の園児40人が訪れ、元気に遊びました。晴れた日にお子様と出かけてみてはいかがでしょうか。

8月27日
**町内で最後の開催
 おひさま保育園の運動会**



おひさま保育園(松岡厚子園長)の運動会が8月27日に開催されました。今年度の町内の運動会では、同園が最後の開催です。今年度は恵まれ、日差しの降りそそぐ中での開催となりました。園児たちはかけっこや趣向を凝らした団体競技、お遊戯などこれまでの練習の成果を精いっぱい披露。子どもたちの一生懸命な姿に、訪れた保護者などから大きな声援が送られました。

9月3～6日
**今回が最後のモニタリング
 国立環境研究所などが摩周湖を調査**



国立環境研究所を中心とした研究機関による摩周湖のモニタリングが9月3日～6日にわたって行われました。川湯エコミュージアムセンターも協力しており今回は北海道立総合研究機構や北見工業大学、北海道大学などの研究者が専門分野の調査を実施。透明度の測定では19mが記録され、その他にも各水深の採水、動物プランクトンの採取などが行われました。今回採取されたものは研究機関によって詳しく調べられます。なお、30年間行われてきた研究機関による摩周湖調査は今回の調査を持って終了となりました。

8月29日
**ゆるっと体を動かそう
 子育て支援センターが母親講座を開講**



子育て支援センターが主催するひなたっぼこの利用保護者を対象に8月29日、母親講座が開講されました。子育て中の運動不足の悩みを解消するための企画で、普段運動する習慣がない方でも気軽に参加できる内容になっています。この日は7人が参加し、講師の森明美さんの指導のもと「ゆる体操」を行いました。元々はヨガの講師が始めたという「ゆる体操」。心地いい音楽でヨガやマッサージのような動きを自分の気持ちのいい回数、力加減で行います。参加した方は「体が温かくなりました」とリラックスした様子でした。